

令和 8 年 1 0 月 1 日

お 知 ら せ

課 名	農政企画課
担 当	北谷・奥
内 線	3711・3713
直 通	086-226-7413

令和 8 年度（第 59 回）岡山県農林漁業功労者表彰の 受賞者が決定しました

県では、本県農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀と認められる個人又は団体を表彰する「岡山県農林漁業功労者表彰」について、今年度の受賞者を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

1 受賞者 別紙のとおり

（参考）表彰状況

部 門	表 彰 区 分	
	知 事 表 彰	農林水産部長表彰
農 産 部 門	6	11
畜 産 部 門	1	3
土 地 改 良 部 門	1	3
林 業 部 門	-	-
水 産 業 部 門	-	-
団 体 指 導 者 部 門	-	1
農山漁村活性化部門	-	1
計	8	19

2 表彰式

日時 令和 8 年 11 月 12 日（木）15：00～16：00

場所 県庁 3 階 大会議室

（岡山市北区内山下 2－4－6）

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	いけまち ひろみ 池町 浩美 (66歳) 真庭市	農 業	平成23年～29年 J Aまにわぶどう生産組織 協議会理事 平成30年～令和 7 年 J A晴れの国岡山まにわぶ どう部会会長 令和 4 年～現在 岡山県農業士	令和 4 年 岡山県農林漁業功労 者表彰（農林水産部 長表彰）
	<功績概要> 真庭市でぶどう、水稻の複合経営に取り組んでいる。J A晴れの国岡山まにわぶどう部会の初代会長として、令和 2 年～6 年にはハイブリッド産地育成推進事業によるぶどう園地の整備に尽力し、令和 5 年～6 年には、産地マーケティング育成強化事業を活用して部会のマーケティング戦略の策定に意欲的に取り組むなど、産地規模の拡大やブランド力の向上に貢献している。 また、自ら就農希望者の研修受入農家となるほか、農業士としても精力的に活動するなど、新規就農者の確保・育成に大きく貢献している。 さらに、せん定枝を市内の木質バイオマス発電所に供給する取組を先駆的に開始し、令和 6 年以降は部会にも働きかけて取組を拡大するなど、環境に配慮した農業の推進にも尽力しており、産地の振興に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	いしはら まさみ 石原 正巳 (63歳) 津山市	農 業	平成27年～30年 J Aつやま久米南キュウリ 部会部会長 平成28年～現在 就農アドバイザー 令和 7 年～現在 J A晴れの国岡山久米南キ ュウリ部会幹事	令和元年 岡山県農林漁業功労 者表彰（農林水産部 長表彰）
	<功績概要> 久米南町できゅうり、水稻、白ねぎ等の複合経営に取り組んでいる。夏秋きゅうりを軸として、ハウスでの半促成きゅうりや白ねぎを組み合わせた栽培体系は地域におけるモデルとなっている。 また、技術面においては、新品種や新資材等の栽培試験に積極的に取り組むとともに、その結果を他の生産者と共有することで、部会全体の技術の向上に寄与している。 さらに、新規栽培者の確保・育成の必要性を先頭に立って関係機関に提言し、令和 2 年から栽培初心者講習会の開催を実現し、自身のほ場を提供して技術支援に尽力するなど、新規栽培者の経営安定や産地振興に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	うすい こうじ 臼井 浩司 (54歳) 倉敷市	農 業	令和元年～現在 岡山県農業士 令和6年～現在 岡山県果樹研究会もも部会 部会長 令和7年～現在 玉島北園芸協会桃部会部会長	令和5年 岡山県農林漁業功労 者表彰（農林水産部 長表彰）
	<功績概要> 倉敷市でもも経営に取り組んでいる。多品種を組み合わせた労力分散や省力機械の導入などにより県内トップクラスの経営面積を誇るとともに、高品質生産を実現しており、ももの大規模経営モデルを確立している。 令和6年から岡山県果樹研究会もも部会長として県下全域のもも生産者のリーダー的存在となっており、県育成品種の栽培技術の確立に取り組むなど、県産もものブランド化に寄与している。 また、担い手を確保・育成するため、新たな園地整備に当たり関係機関との調整や地権者との合意形成に尽力するとともに、現在は玉島北園芸協会桃部会の部会長として、他の親方農家と連携して実務研修生への技術指導や農地の斡旋などに加え、県内外の就農相談会にも積極的に参加するなど、産地の維持、発展のために果たした功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	かわごえ みちひろ 川越 通弘 (80歳) 岡山市	農 業	平成15年～現在 有機無農薬生産集団「おかやまオーガニック」代表 令和6年～7年 おかやま有機無農薬農業連絡協議会会長	令和5年 岡山県農林漁業功労 者表彰（農林水産部 長表彰）
	<功績概要> 岡山市北区で有機無農薬の米、野菜栽培に取り組んでいる。長年にわたり有機無農薬栽培を実践しており、「おかやま有機無農薬農産物」の知名度向上と産地育成に大きく貢献している。 技術面では、有機質資材を利用して肥料を作成したり、病虫害・雑草対策として様々な技術を組み合わせたりするなど、他の生産者の模範となっている。 また、近年も販路をさらに拡大させているほか、令和6年～7年には、おかやま有機無農薬農業連絡協議会の会長を務め、県が実施する産地見学会の視察受入や、情報交換会における講演を積極的に引き受けるなど、有機無農薬栽培の取組拡大に向けて尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	くにさだ たけし 国定 豪 (69歳) 岡山市	農 業	平成29年～現在 岡山市農業委員 令和3年～現在 藤田豆類研究会会長 令和6年～現在 全国稲作経営者会議理事	令和5年 岡山県農林漁業功労 者表彰（農林水産部 長表彰）
<功績概要> 岡山市南区で水稻、麦、大豆等の複合経営に取り組んでいる。機械化一貫体系による大規模経営を確立しており、さらに県南部における黒大豆の大規模栽培にも挑戦するなど、水田営農における先導的役割を果たしている。 令和6年からは、全国稲作経営者会議で県の代表として理事を務め、本県の稲作経営者を牽引しているほか、スマート農業技術の研究等に尽力しており、近隣の大規模経営体への技術普及にも貢献している。 さらに、環境に配慮した農業への関心も高く、令和6年1月にはバイオ炭の製造及び施用の取組において県内でいち早くみどり認定を受けるなど、新しい技術にも積極的に取り組んでおり、地域農業の振興に果たした功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	こまえ かずみ 小前 和己 (68歳) 高梁市	農 業	平成26年～27年 びほく農協ぶどう生産部会 高梁支部長 平成26年～現在 岡山県農業士 令和5年～6年 JA晴れの国岡山びほくぶ どう生産部会高梁支部中井 班長	平成29年 岡山県農林漁業功労 者表彰（農林水産部 長表彰）
<功績概要> 高梁市でぶどう栽培に取り組んでいる。複数のぶどう品種を組み合わせるほか、地域の農家を積極的に雇用することで大規模経営を実現しており、地域目標を大きく上回る所得を達成している。 また、夏期高温による着色不良対策として、新品種の試験導入や技術実証に先導して取り組むなど、他の部会員の模範となっている。 さらに、農業士として継続的に活動しているほか、関係機関等と連携し、農業研修生の受入体制づくりや新規就農者等への指導体制の構築などに尽力しており、産地規模の拡大と担い手の確保・育成に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
畜産部門	ひらの こうへい 平野 耕平 (67歳) ひらの ひろこ 平野 博子 (60歳) 里庄町	農 業 (酪農)	<耕平氏> 平成28年～現在 おかやま酪農業協同組合理事 平成29年～現在 里庄町農業委員 平成30年～現在 笠岡湾干拓地土地改良区副理事長 <博子氏> 平成15年～現在 岡山県農業士 平成26年～28年 おかやま酪農業協同組合女性部委員長 平成26年～28年 西日本酪農青年女性会議副委員長 令和6年～7年 井笠地方農業士会 会長	令和6年 全国優良畜産経営管理技術発表会 最優秀賞（連名） <耕平氏> 平成11年 矢野賞 令和元年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰） <博子氏> 平成27年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
	<功績概要> 笠岡湾干拓地に牛舎を整備して新技術を積極的に取り入れ、投資を抑えた実践的な技術改良で成果を上げている。また約20haの農地を活用して粗飼料自給率ほぼ100%を達成し、地域に根差した循環型酪農経営を実践している。 両氏は長年にわたり二人三脚で酪農経営に尽力し「令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会」において連名で最優秀賞を受賞し、以降は研修会などを通して惜しみなくそのノウハウを伝え、畜産業界の発展に貢献している。 また耕平氏はおかやま酪農業協同組合理事として組織の円滑な運営に手腕を発揮し、博子氏は同組合女性部の活動に熱心に取り組むなど、県の酪農振興において中核を担う存在である。加えて耕平氏は里庄町農業委員及び笠岡湾干拓地土地改良区副理事長、博子氏は県農業士を長年務めており、地域農業の発展に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
土地改良部門	みやけ たかし 三宅 隆 (70歳) 岡山市	農 業	平成14年～平成26年 一宮吉備高原土地改良区理事 平成26年～現在 一宮吉備高原土地改良区理事長 平成22年～現在 岡山県農業士 令和4年～令和8年 岡山地方農業士会 会長	令和2年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
	<功績概要> 一宮吉備高原土地改良区の理事及び理事長として、長年にわたり土地改良区の健全な運営に寄与するとともに、地域農業に大きな役割を果たしている土地改良施設の維持管理に取り組み、広大な受益地の農業振興に尽力している。 また、老朽化した農業水利施設の計画的な補修に努めるほか、関係機関との調整により県営基幹水利施設ストックマネジメント事業の事業化に貢献した。 さらに、令和6年に発生した漏水事故の際には、迅速な復旧や対応訓練による体制強化を図り、農業用水の安定供給と地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	いまい やすたか 今井 康隆 (56歳) 岡山市	農 業	平成29年～現在 農業共済損害評価員 平成30年～現在 J A岡山一宮選果場果樹部 会部会長 令和2年～現在 岡山県農業士	
	<功績概要> 岡山市北区でもも、水稻の複合経営に取り組んでいる。ももの晩生品種を地域でいち早く導入して労力分散を図っており、水稻の早生、中生品種と組み合わせた経営は地域のモデルとなっている。また、環境に優しい栽培方法にも積極的に取り組み、得られた成果を部会の防除暦に反映させるなど、地域の模範となっている。 就農6年目にして県を代表する部会の部会長に就任し、部会の運営に4部門の分業制を取り入れたほか、青年層を運営会議に参加させるなど、部会活動の活性化や次世代リーダーの育成に尽力している。 担い手確保対策では、自身も農業士として研修生を受け入れ、6人を就農に導いたほか、農地情報をリスト化して希望者に情報提供する仕組みを作り、園地流動化を積極的に進めるなど、産地の維持、発展に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	きむら きょうすけ 木村 恭介 (54歳) 倉敷市	農 業	令和3年～現在 真備ぶどう生産組合組合長 令和8年～現在 倉敷市農業土木委員	
	<功績概要> 倉敷市でぶどう経営に取り組んでいる。就農直後の平成30年7月豪雨により自身も甚大な被害を受けた中、J A職員時代の経験を活かし、関係機関と連携して、産地の復興に大きく貢献している。 また、施設栽培における自動換気の導入等により高品質生産を実現しており、高い技術力は地域の模範となっている。加えて、加温栽培から簡易被覆栽培まで長期間にわたる「ピオーネ」の出荷体制を確立しており、「オーロラブラック」も導入して黒色系ぶどうの出荷を率先して行うなど、市場からの要望に応えられる産地形成に寄与している。 さらに、真備ぶどう生産組合の組合長として、首都圏における県産ぶどうの知名度向上に大きく貢献しているほか、組合の担い手班「AGR I HOP」の班長として、研修生の受入や若手の技術習得支援、産地に溶け込みやすい環境づくり等にも尽力しており、産地の維持、発展に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	こみやま みすず 小見山 美鈴 (63歳) 高梁市	農 業	平成31年～現在 岡山県農業士 令和4年～5年 落合町愛育委員副会長 令和8年～現在 高梁農業士会副会長	
	<功績概要> 高梁市でぶどう経営に取り組んでいる。地域平均の2倍を超える大規模経営に加え、栽培マニュアルを基本とした丁寧な管理で高品質生産を実現し、地域目標を大きく上回る高い所得を確保しており、地域の模範となっている。 また、講習会や勉強会に参加して、若手生産者と積極的に情報交換を行うなど、地域の課題解決や若手の栽培技術の向上、産地のブランド力の向上に寄与している。 さらに、農業士として部会の維持発展に尽力しているほか、家族経営協定の締結と地域への波及、「ぶどう女子会」への参画による地域の女性活躍の促進など、地域活性化のけん引役として貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	せのお かつあき 妹尾 活明 (51歳) 真庭市	農 業	平成19年～22年 真庭新農業経営者クラブ連絡協議会会長 平成22年～令和3年 就農アドバイザー 令和4年～現在 岡山県農業士	
	<功績概要> 真庭市で水稻、作業受託、野菜苗等の複合経営に取り組んでいる。部門別経営分析や家族経営協定の見直しなどにより経営改善に取り組み、地域目標を大きく上回る所得を実現している。 水稻では、軽量の育苗シート等の利用や栽培管理支援システムの活用、ドローン防除の導入等により省力化と収益性の改善を実現しているほか、湛水直播栽培への取組について積極的に情報発信するなど、地域への技術の波及にも寄与している。 また、野菜苗生産において安価なIoT汎用品を活用した環境モニタリング装置を導入するなど、低コスト化や効率化への取組は地域の模範となっている。 さらに、農業士として次代を担う人材の育成に注力しているほか、農福連携への先進的な取組や、行政等と連携した循環型農業の実践、地元小学生の農業体験の受入など、地域活性化に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	たかいばたけ のぞむ 高 畠 望 （49歳） 真庭市	農 業	令和元年～現在 就農アドバイザー 令和元年～2年 真庭市蒜山大森地区自治会 長 令和2年～現在 J A晴れの国岡山蒜山トマ ト部会協議会副会長	
＜功績概要＞ 真庭市でトマト経営に取り組んでいる。ハウスを施工業者と共同施工することによりコストを抑えながら県内トップレベルの面積にまで規模拡大を図っており、省力技術と雇用を活用した大規模経営の実践は、地域の先駆的な経営モデルとなっている。 養液土耕システム、マルハナバチによる受粉、主枝2本仕立て栽培などの省力技術を積極的に導入するとともに、その効果をクラウドを活用して積極的に情報共有することで地域へ波及させ、部会員の経営改善に寄与している。 また、就農アドバイザーとして実務研修生を受け入れているほか、遊休ハウスの活用を進めるため、情報のリスト化を部会活動として取り組むよう働きかけるなど、担い手確保に向けた体制整備に尽力している。 さらに、冬季の収入源としてかや等を刈り取って出荷する仕組みづくりや、地域と連携した活動にも積極的に取り組むなど、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	はやしだ たみお 林田 民雄 （75歳） 津山市	農 業	平成30年～令和5年 J Aつやま柵原ぶどう部会 副部長 令和6年～現在 J A晴れの国岡山柵原ぶど う部会部会長 令和8年～現在 J A晴れの国岡山柵原ぶど う部会水利部部会長	
＜功績概要＞ 美咲町でぶどう経営に取り組んでいる。複数の品種とハウス栽培を組み合わせることで労力分散を図り、部会平均の2倍を超える大規模経営を実践するとともに、基本に忠実な栽培により高い秀品率を確保しており、地域の模範となっている。 共同選果場の責任者となった平成18年当時、人材不足により一時休止状態となっていた共同選果場の再開に尽力し、部会員の労働負担軽減に貢献した。 また、柵原ぶどう部会の副部長となった平成30年から、空き園地情報を集約して希望者とのマッチングに取り組むほか、部会長に就任した令和6年以降は、部会で初めて実務研修生を受け入れるなど就農希望者の支援に尽力した結果、平成30年以降、18名の新規栽培者を確保するなど、産地の振興に果たした功績は極めて大きく、県民の模範である。				

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	ふるかわ だいすけ 古川 大輔 (50歳) 新見市	農 業	令和4年～7年 JA晴れの国岡山阿新ぶどう部会副会長 令和4年～7年 草間カルスト里山の会（地域運営組織）地域振興部役員 令和5年～現在 岡山県農業士	
	<功績概要> 新規就農研修制度を活用して就農し、新見市でぶどうの大規模経営に取り組んでいる。基本に忠実な栽培管理により部会トップクラスの高品質生産を実現しており、所得は地域目標の2倍を超えるなど、地域のぶどう専作経営のモデルとなっている。 また、JA晴れの国岡山阿新ぶどう部会の副会長として市場との連携や情報発信、産地PRに取り組むほか、栽培初心者への技術指導においても中心的な役割を担っており、産地のブランド力向上に大きく貢献している。 さらに、担い手の確保・育成においては、自身の経験を就農相談会等で発信するほか、地区の農地や住居に関する情報提供やマッチング活動にも積極的に取り組んでいる。加えて、研修生の受入や経営発展に対する支援や地域運営組織の活動など、地域活性化に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	みずた てつや 水田 哲也 (62歳) 瀬戸内市	農 業	平成31年～現在 JA岡山長船果樹部会会長 平成31年～令和7年 磯上油杉地区土木委員 令和4年～現在 岡山県農業士	
	<功績概要> 瀬戸内市でぶどう経営に取り組んでいる。就農後、自力施工で計画的にハウスを増築し、低コストによる施設面積の拡大を実現している。 高単価が期待できる盆前出荷に高規格品を生産する技術は部会員の模範となっており、品質にこだわりながら、基本に忠実な自身の栽培方法を他の生産者に伝えるなど、部会全体の収益性向上に貢献している。 また、部会長就任後は、自身の園地を展示ほ場として提供するほか、新規就農者に対して細かな栽培技術指導を行うなど、若手生産者の早期技術確立や産地の維持・拡大に貢献している。 令和4年からは農業士として、新規就農者への指導や研修生の受入を積極的行うなど、産地の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	めぐろ ゆうき 目黒 裕樹 (45歳) 倉敷市	農 業	令和 3～4 年 船穂町農業後継者クラブ副 会長	
	< 功績概要 > 倉敷市でスイートピー経営に取り組んでいる。規模拡大に加え、従業員が働きやすい環境づくりや、家族経営協定の締結などにより経営改善を図っており、地域目標を超える所得を実現している。 また、誘引方法の工夫による作業の効率化や品質向上、市場動向を踏まえた染色品種の開発など、省力化や有利販売に向けた取組で地域を先導しているほか、ハウス内環境の改善による生理障害の軽減や高温対策等の課題解決に取り組み、得られた知見を栽培マニュアルに反映させるなど、部会全体の技術改善にも寄与している。 さらに、花育活動等を通じた産地 P R や、輸出に対応した販促活動などにも積極的に取り組み、平均単価の上昇や産地のブランド力強化に大きく貢献したほか、就農希望者の受入活動にも積極的に協力するなど、産地の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	やまじ やすひろ 山地 康弘 (66歳) 倉敷市	農 業	令和 2 年～現在 倉敷市農業委員 令和 5 年～現在 岡山県農業士 令和 6 年～現在 J A 晴れの国岡山理事	
	< 功績概要 > 倉敷市で水稻、なす等の複合経営に取り組んでいる。ほ場の集約化や区画拡大により作業の効率化を進めるとともに、野菜を組み入れて経営の安定化を図っており、地域目標を大きく上回る農業所得を実現している。 水稻では、5 品種を栽培することで作期の分散や機械利用率の向上を図っているほか、高温耐性品種の導入や、特別栽培米生産などの環境負荷低減の取組において、地域を先導する役割を果たしている。 また、倉敷地方稲作研究会においては、情報提供や若手生産者への助言を積極的に行い、会員の資質向上や地域の課題解決に尽力している。 さらに、農業委員や土地改良区理事として地域計画の作成を支援するとともに、農業士として担い手育成活動に取り組むなど、地域農業の振興に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	よしはら たけお 吉原 丈夫 (78歳) 和気町	農 業	令和4年～現在 J A晴れの国岡山おかやま 東ナス部会部会長	
	<功績概要> 和気町でなす、水稻、ほうれんそう等の複合経営に取り組んでいる。J A晴れの国岡山おかやま東ナス部会の部会長として産地をけん引しており、露地品目を組み合わせた経営モデルは地域の模範となっている。 共進会で度々入賞する高い技術力を有しているほか、地域に先駆けて各種の環境負荷低減技術を導入しており、部会全体の環境に優しい農業への取組を先導している。 さらに、行政が主催する産地見学会や就農準備講座などに積極的に協力しているほか、親方農家として研修生を受け入れて新規就農者の確保・育成にも尽力するなど、産地の振興に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
畜産部門	こうもと しんじ 孝本 真二 (48歳) 吉備中央町	農 業 (肉用牛 繁殖)	平成25年～平成30年 岡山県家畜人工授精師協 会 副会長 令和2年～現在 晴れの国岡山農業協同組 合 びほく和牛生産部会 会長	平成12年 第22回岡山県和牛経 営発表会 最優秀賞 平成13年 第34回肉用牛経営発 表会 農林水産省生 産局長賞 平成24年 岡山県家畜人工授精 功労者表彰 平成28年 矢野賞 平成30年 第5回全国自給飼料 生産コンクール 農林 水産省生産局長賞
	<功績概要> 吉備中央町で経営基盤の整備にあわせて飼養頭数の増加や作業効率の向上を図った県内でもモデル的な肉用牛繁殖経営であり、細やかな個体管理により出荷子牛については推奨子牛の認定率が県平均を上回る実績となっている。 更に自給飼料の生産に努め、土地利用効率の高い栽培体系を実施している他、飼料生産組合の設立にも参画し、地域の飼料増産に貢献している。 また家畜人工授精師としての高い技術や堅実な経営理念により地域の農業者や関係機関から厚い信頼が寄せられ、地域農業の活性化に貢献した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
畜産部門	こだに とおる 小谷 徹 (49歳) 真庭市	農 業 (ジャージー酪農)	平成24年～現在 蒜山酪農業協同組合 理事 平成30年～令和5年 おからくジャージー改良 同志会 会長	平成26年 矢野賞
	<功績概要> 真庭市蒜山地域で牛舎整備によりジャージー成牛80頭規模まで増頭し、積極的な新技術の導入、個体管理の徹底や高能力牛群への改良による高乳量の実現など、地域のジャージー酪農経営のモデルとなっている。 更に遊休農地の借受により飼料基盤を拡大して良品質な自給飼料生産に取り組み、粗飼料自給率が80%を超えているほか、4戸の酪農家とともに共同収穫組合を設立して組合長に就任するなど、資源循環型の自給飼料生産を実践している。 また蒜山酪農協の新商品A2ミルクの開発に協力し、指定農場として生乳を供給するなど、蒜山地域のジャージー酪農振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
畜産部門	ふじわら かんじ 藤原 完治 (48歳) 高梁市	農 業 (酪農・肉用牛繁殖・乳牛育成)	平成18年～平成24年 岡山県家畜人工授精師協会 高梁支部長 平成20年～24年 おからく青年部 副委員長 平成25年～現在 びほく酪農組合 監事	平成12年, 21年, 26年 岡山県青年農業者 プロジェクト発表 岡山県知事賞 平成27年 矢野賞
	<功績概要> 高梁市で酪農と肉用牛肥育を主とした複合経営を継承し、酪農部門を拡大して強化を図るとともに、収益性の不安定な肉用牛肥育から肉用牛繁殖への転換、哺乳ロボットなどの導入による省力化を進め、経営改善を実現した。 また県内の育成牧場減少に危機感を持ち、井原市美星町に乳牛育成牧場を設立し、重要な生産基盤の運営を通して畜産業界に大きく貢献している。 更に牧場が中山間地域に位置し土地利用に制約がある中、農地の集約を進めて自給飼料の生産基盤を確保すると共に、耕作放棄地も受け入れることで遊休地対策にも貢献し、加えて飼料生産組合の一員としても耕畜連携に積極的に取り組むなど、地域の担い手として尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
土地改良 部門	お ぎ き まさる 尾 崎 勝 (76歳) 岡山市	農 業	昭和60年～平成17年 砂川右岸土地改良区 理事 平成17年～現在 砂川右岸土地改良区 理事長	令和 6 年 土地改良功労者表彰 (岡山県土地改良事 業団体連合会) 令和 7 年 全国土地改良功労者 表彰(全国土地改良 事業団体連合会)
	<功績概要> 砂川右岸土地改良区の理事及び理事長として、健全な土地改良区の運営や積極的な女性役員の登用に尽力している。 また、老朽化が進む農業水利施設の維持管理に精力的に取り組むとともに、非補助土地改良事業による計画的な補修を主導し、事業実施にあたっては、地元農家へのきめ細かな説明を行うなど、事業の円滑な推進により農業用水の安定供給に貢献した。 さらに、国営かんがい排水事業の推進にも尽力し、地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
土地改良 部門	さ わ ゆ き よ し 澤 由紀義 (77歳) 高梁市	農 業	平成26年～令和 2 年 備北土地改良区理事 令和 2 年～令和 6 年 備北土地改良区副理事長 令和 6 年～現在 備北土地改良区理事長	
	<功績概要> 備北土地改良区の理事、副理事長及び理事長として、健全な土地改良区の運営や土地改良施設の適正な管理に尽力している。特に、土地改良区が管理する小水力発電の送電線の被災時には、早期復旧を実現し、農家負担の軽減に貢献した。 さらに、老朽化が進む畑地かんがい施設の適切な修繕や計画的な更新に向けた調整に尽力しているほか、関係機関への働きかけにより備北地区の農業水路等長寿命化対策を県営で事業化させるなど、施設の保全と地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
土地改良 部門	ふ く な が た く し 福 永 卓志 (78歳) 奈義町	農 業	平成28年～令和 4 年 大谷池土地改良区理事 令和 4 年～現在 大谷池土地改良区理事長 令和 2 年～現在 多面的機能支払交付金 広岡地区活動組織副代表 平成22年～現在 中山間地域等直接支払交付金 広岡西農地保全組合 土地改良施設担当役員	
	<功績概要> 大谷池土地改良区の理事及び理事長として、健全な土地改良区の運営や土地改良施設の適正な管理、積極的な女性役員の登用に尽力している。 また、土砂流入や老朽化により決壊のおそれがある大谷池の改修に向け、組合員に改修の必要性を説明し、県との連絡調整に尽力して工事着手を実現した。 さらに、工事中も営農を維持できるよう奔走し、農業用水の安定供給と地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
団体 指導者 部門	うじひら よりみつ 氏平 頼光 (78歳) 津山市	団 体 員 役 員	平成24年～令和 7 年 津山地区木材組合 理事 令和 6 年～現在 真庭地区木材組合 副理事 長	令和 2 年 全国木材組合連合会 会長表彰
	<功績概要> 平成24年から津山地区木材組合の理事を務め、木材・建築関係者等が連携する木の国美作ネットワークの設立や、美作材を活用した設計コンテスト、DIY、木造住宅見学ツアー等を実施し、木材利用の拡大と木の文化の普及に尽力した。 また、令和 6 年からは真庭地区木材組合副理事長として、合法木材等の普及を目的に県建築士会と連携した研修会を開催するとともに、木材市場事務所の内装を木質化し、地域イベント等で活用するなど、木材と触れ合う場の創出にも取り組んでいる。 これらの先導的かつ継続的な活動を通じ、県産材の普及と需要拡大を長年牽引するとともに、木材業界の発展に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農山漁村 活性化 部門	さとう たくや 佐藤 拓也 (40歳) 高梁市	農 業	平成29年～令和 3 年 高梁市移住コンシェルジュ 令和 3 年～4 年 高梁の味ネットワーク会長 令和 5 年～現在 吹屋地区移住者支援組織「 吹屋に住んでみんな会」副代 表	
	<功績概要> 雇用者14人を擁する「株式会社さとう紅商店」を経営しており、赤とうがらし加工を軸とした 6 次化商品の販売や地域イベントの開催等を通じて地域活性化に取り組んでいる。 平成24年に移住後、地域おこし協力隊として活動しながらゆず胡椒を商品化し、平成29年に開業後、令和 4 年には法人化して、空き家を活用した直営店舗を営むとともに、販売先を全国150店舗にまで拡大させている。 商品には地元農産物を活用し、地域の生産者からゆずや赤とうがらしを再生産可能な価格で買い取ることで地域農業の維持に寄与しているほか、加工作業には農業への新規参入者や高齢者、障害者を活用しており、地域の雇用確保、所得向上にも貢献している。 また、高梁市の移住促進施策にも積極的に協力し、移住者支援組織の設立や各種イベント開催を通じて、地域住民と移住者等の交流促進に尽力している。 さらに、地域の 6 次化事業者のグループである高梁の味ネットワークの企画・販売においても中心的な役割を担っており、市内の 6 次化事業者からの信頼も厚く、自身の経験やアイデア、ノウハウを積極的に提供するなど、地域の活性化に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			